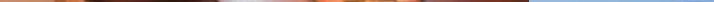


福井県 留学生 だより 2019

福井県留学生交流推進協議会



巻頭言

1

「留学生を受け入れる教育機関の役割」

福井県留学生交流推進協議会会員 福井工業大学長 掛下 知行

留学生の声

2

「日本での留学」

福井工業高等専門学校 WAN MOHAMAD AMIRUL BIN WAN MOHAMAD YUSOFF (マレーシア)

「私の道」福井大学 LIANG TINGTING (中国)

交流活動

4

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金

公益財団法人福井県グローバル人材基金

活動スナップ

地域交流状況

寄稿

9

「留学生の北陸就職に向けて産学連携の意見交換会を実施」

亜細亜大学 アジア研究所 教授 九門 大士

福井県留学生交流推進協議会

10

福井県留学生交流推進協議会の活動

福井県留学生交流推進協議会 会員・運営委員会名簿

留学生関係資料

12

福井県高等教育機関における外国人留学生の受け入れ状況等

留学生を受け入れる教育機関の役割

福井県留学生交流推進協議会会員
福井工業大学長 掛下 知行



2008年に提唱された「留学生30万人計画」において2018年5月現在、外国人留学生数は298,980人となり（日本学生支援機構調査）、目標達成は確実なものとなってきています。

しかし、2010年には15万人に満たなかった外国人留学生数の今に至る急増は受け入れ機関の環境整備が追い付いていない現状が改めて浮き彫りになってきています。今般、ニュースで報道された行方不明留学生を多く発生させた大学や、留学生の母国強制退去を半ば強制的に実行している日本人学校などが例としてあげられます。留学生を受け入れる教育機関の環境整備を早急に整えていく必要があるといえます。

また、外国人留学生の出身国に目を向けると、9割以上がアジア出身という現状であり、地球儀を俯瞰するという点からは多様な出身国の留学生を受け入れているとはい難く、広範な諸外国と日本との架け橋となるべき人材の育成という観点からは留学生の国籍に偏りが生じている事態となっています。

さらに、留学生のなかには金銭的に余裕のない学生も少なくなく、アルバイトを中心とした生活から教育機関での修学に支障をきたす場合もあります。また、生活に困窮した留学生の犯罪への関与についても社会問題となっている現状もあります。

しかし、少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少している我が国において、AIを始めとする第四次産業革命時代のリテラシーや汎用的能力と専門性を兼ね備えた高度人材へのニーズも一層高まることが予想され、高度外国人材となり得る可能性を秘めた卵でもある留学生が卒業後も日本に留まり、我が国の企業の国際競争力や大学や研究機関等の研究力向上に貢献して欲しいという期待も高まっています。

こうした状況のなか、「ポスト留学生30万人計画」を見据え、我が国に多数の優秀な留学生を確保するためには、これまで以上に戦略的な留学生受け入れ政策と環境づくりが必要とされています。

2018年、福井県は25の国と地域から386人の留学生を受け入れており（福井県留学生だより2018参照）、日本での留学先に福井県を選んでくれた留学生に対し、福井県留学生交流推進協議会は、その主たる目的である留学生の円滑な受け入れの促進と地域住民との交流活動をなお一層推し進めていくことが必要となってきています。

「留学生30万人計画」の完成年度を迎える今こそ、現在までに浮き彫りとなった留学生受け入れにおける問題

点と課題を再確認し、留学生がこの福井県で安心して、そして、安全に生活できるようにさらなる環境整備の充実に向けた活動を促進させていく必要があろうと考えております。

留学生が第二の故郷としてこの福井県を考えてくれるることは、留学生の福井県への定着を促進するだけではなく、福井県のグローバル化の推進にも必ずや寄与してくれるもの信じてやみません。

留学生の受け入れは、言語の違いや在留期間の管理、アルバイト時間の制限など、日本人学生の受け入れとは大きく異なる状況があります。ただ単に留学生の受け入れ人数を増やすことは、大学運営にも多大な影響を与えかねません。そのような状況の中で優秀な留学生を如何に確保し、国際社会で活躍できる人材として育成し、世界に羽ばたかせるかが、留学生を受け入れる教育機関の極めて重要な責務であると考えております。

さて、本学では2019年5月現在、学部・大学院を合わせて120名の正規留学生を受け入れております。留学生への支援としては、日本語の能力向上を目指した日本語教育や、日本とりわけ福井県の文化の理解向上のための地域密着型体験学習、地域住民との交流機会の創出、留学生を対象とした国内企業への就職支援活動等、広範で多岐にわたる活動をしてきております。このような活動とその実績が認められ、一般財団法人「日本語教育振興協会」から「日本留学アワーズ西日本私立大学理工系部門」に2013年から6年連続で優秀校として、さらに5年連続で大賞校と認定されました。なお、「日本留学アワーズ」とは全国の日本語学校の教職員から「外国人留学生に勧めたい進学先」として認められた大学や専門学校に対して与えられる賞です。

これからも本学は留学生を受け入れる教育機関として、1人1人の留学生に寄り添いながら1人の脱落者も出すことなく、グローバル人材として国際社会で活躍でき、また、貢献できる留学生を育成、送り出すべく、活動を続けていく所存です。

最後に、これからは一つの大学という枠を超えて、福井県内に所在する他大学の日本人学生や留学生との交流を一層深め、福井県のさらなる国際化に向けた礎を協力して築き上げることができる環境構築のためにも、福井県留学生交流推進委員会の果たすべき、また、期待される役割は今後益々大きなものとなっていくであろうと思われます。

日本での留学

福井工業高等専門学校 機械工学科 5年

WAN MOHAMAD AMIRUL BIN WAN MOHAMAD YUSOFF (マレーシア)



「なぜ日本を選んだ?」、「日本は楽しい?」。この質問は私がいつも友達と家族に聞かれた質問です。私は日本に来てからほぼ3年間経ちました。今、私は福井工業高等専門学校の機械工学科5年生として勉強していて、来年の3月に卒業します。

私は日本に留学することは一度も考えることはませんでした。高校の時、ただ留学したかったので、どこでもいいと思っていた。そのとき、私は、日本のこととはあまり知らなくて、アニメと漫画しか知りませんでした。私は日本に来る前に、マレーシアの日本語学校で二年間勉強しました。日本語学校に入ってきた学生はみんな優秀で、日本語がすでに話せる学生もいたし、日本に行ったことがある学生もいました。ですから、日本語学校に入った学生はほとんど自分の意志で日本に留学することを決めていました。日本語学校の授業は本当に大変でした。毎日日本語を勉強して、毎日小テストをしました。もし、小テストの点数が低かつたら、やり直します。そして、漢字の授業もあって、私は漢字を勉強したことはありませんでしたので、漢字を書くのがなかなか難しかったです。マレーシアの日本語学校と言いましたが、日本語学校の先生は80%日本人ですので、授業は全部日本語で行われました。この2年間の勉強は大変でしたが、日本語を学ぶだけでなく、日本の文化や、日本人のやしさも少しずつ分かるようになってきて、知らないうちに私は日本の方が好きになりました。

私は、日本語学校で勉強してから、2017年に来日しました。日本語学校で2年間、一緒に勉強したり、遊んだりした友達はみんな日本の至るところに散らばりました。友達と別れるのは悲しかったですが、夢を追いかけるために前に進むしかありませんでした。みんなは北海道、九州、四国の別々のところに行って、私は北陸にある福井高専に留学することになりました。私は三年生に編入して、その頃クラスには学生が48人いましたが、48人のうちに私一人だけ留学生でした。47人の学生は一年生からずっと一緒に勉強して、仲がいいと言えました。初めてクラスに入ったとき、私は緊張していて、同じ年の日本人に今までに会ったことがなくて、みんなは外国人に対してどんな印象を持っているのか、また私を友達として認めてくれるのかという疑問が頭の中に浮かびました。私の日本語もまだまだだったので、人に話しかけるのはなかなか自信がありませんでした。しかし、時間が経つにつれて、私は日本の生活に慣れてきて、日本語も少しずつ上達しました。そして、専門の科目が多かったですが、チューターのおかげで、勉強のことを心配することはませんでした。チューターを通して、勉強だけではなく、日

本の文化と日本語も学べました。高専は留学生が少ないですが、留学生であっても差別などは全然ありませんでした。逆に、高専は留学生がよい生活が送るためにいろいろな対策をとっています。その一つは留学生研修旅行です。留学生研修旅行で日本の文化を学びつつ、留学生とチューターが相互の交流を深めることができます。私は三年生の時、越前市にある越前和紙の里に行きました。そこで和紙の作り方を学んで、実際に和紙の製作を経験しました。和紙は丁寧な手順で作られますので、品質が高くて、普通の紙と全然違います。このような研修旅行で、新しいことを学べて、日本の文化も深めることができますので、面白いです。

私は今年5年生になりました。5年生になると、4月から7月にかけてみんなは進学の受験と就職活動で忙しくなります。私は大学に進学を希望しましたので、進学のための受験をしました。進学受験は面接と筆記試験がありました。私は今までに日本語での面接をしたことはなかったので、私は日本の面接のやり方とか面接のマナーなどを全然知りませんでした。しかし、先生が私たち留学生のために日本語の授業で面接練習を何回もしてくれました。それに、進学受験の勉強に問題があれば同級生が助けてくれました。先生と友達がいつも私を励ましてくれてありがとうございます。今、クラスの学生の進路はみんな決まりました。来年から会社で働く人もいるし、大学に入る人もいます。みんなは自分が選んだ道を歩んでいき、新しい思い出を新しい場所でつくります。私も残り半年間、いい思い出を友達と作りたいと思います。

日本は住みやすい国だけではなく、歴史が長くて、文化が深い国です。また、日本人はやさしくてマナーを厳しく守ります。私は3年間日本に住んでみて、外国人ではなく、日本人として扱われていると感じます。そして、この3年間にわたって、私はいろいろなことを日本で経験しました。日本の文化を学び、新しい友達をつくり、日本の季節を経験し、日本の面白いところに行ったりなどの数え切れないほど経験を積みました。私は来年から大学になります。大学で勉強するのは2年間しかありませんが、2年間で新しいことを学ぶのと新しいことを経験するのは十分だと思います。今までに経験したことと、今から経験することは、国に帰ってからも心の中にいい思い出として保管し、いつまでも忘れられません。また、友達と家族からの質問の答えをもう見つけました。



私の道

福井大学大学院 教育学研究科 学校教育専攻2年

梁 婷婷 LIANG TINGTING (中国)



私の名前は梁婷婷、中国から来て、今は福井大学教育学研究科の修士2年生である。中国は地図の形から見ればよく「ニワトリ」に似ていると言われる。私の故郷「西安」は「ニワトリ」の心臓の辺りにあり、昔は「長安」と呼ばれた。李白や白居易などの詩人はそこで名詩を多く残し、日本からの遣唐使も数多かった。阿倍仲麻呂と空海もそこに来たことがある。「長安」は都として1006年間に渡って栄えていた。今でも各遺跡を通して千年もの昔の物語を味わうことができる。このような歴史的な雰囲気に満ちた都市に生まれた私はごく普通の家庭で育てられ、一人っ子である。この私を一言で表すと、「平凡」という言葉が一番ふさわしいだろう。子供のころからずっと海外での生活に憧れ、留学を夢見たこともあった。遣唐使のように、異国の文化を学び、そこで生活したかった。しかし、現実と理想の間に見えない海も存在していた。

親に負担をかけないために、大学を卒業して、すぐ就職した。留学の夢はどんどん離れていく、ただの白日夢になっていた。

しかし「留学したい」という願いをずっと持っていて、いつも頭に浮かんできた。今更学校に戻るのは遅くないか、仕事を辞めるのは本当に大丈夫かと自分に問いただしたが、母は「人生は片道の旅で、自分の道を走ろう」と励ましてくれた。

夢を実現するために行動しようと決心した時、妄想に過ぎないとか、きっと出来ないとか、周囲からは反対の声が次々と出された。その時、母だけは変わらず応援してくれた。辛い時もあったが、行動すれば想像を超える出来事が起こるかもしれない。ついに努力は報われ、私はやっと大学院の入学試験に合格した。母のサポートがなければ、一人で決してできないとと思う。

しばらく西安外国语大学で勉強し、福井大学に留学することにした。海を越え、壁を越え、期待と不安を抱きながら、長いトンネルを抜けると、春の肌寒い3月の福井に来た。ちょうどそのころ福井は37年ぶりの大雪に見舞われた。大阪からの電車で、車窓から溶け残った雪がまだ見られた。その時よく行った所は国際課で、先生たちの優しい笑顔は異国に来たらばかりの私の緊張感を解消した。

福井大学で永井崇弘先生に出会えた。週1回のゼミでは論文の討論を行なっているため、文献を読む能力が以前よりもついたと思う。永井先生はとても温かく、研究指導のみならず精神面へのフォローもして、くじけそうになる心を支えてくれた。先生の紹介で、福井青年館の臨時中国語講師を務め、力を発揮しながら、文化交流の楽しさを感じた。

勉強とアルバイトに没頭した私はだんだん福井での生活

に慣れてきた。あっという間に私も先輩になった。後輩留学生のチューターを頼まれた時に、先生に認められたと光栄に思い、人助けに役立つことにも嬉しかった。数えてみれば、チューターを担当してもう三回目になった。かつて自分が感じた不安は新入留学生たちの顔にもよく見られる。その度、できるだけ自分の経験を彼らに伝え、彼らの留学生活を少しでも気楽にできれば、私にとって何より嬉しいことだ。

研究以外、日本の伝統文化に親しむため、私は着物教室に通い始めた。最初は浴衣と着物の違いさえわからなかつたが、今年の10月、福井大学の代表として、全日本きもの装いコンテスト北陸・北越大会に出場した。先生とチームメンバーのおかげで、学校対抗部門で2位を取った。

様々な国の人や、その文化に触れ、異文化を受け入れられる価値観や包容力を身につけている。文化の交流は実際に善意の伝播だと考えられる。今日した小さな出来事は平和と友好の種のように、いつか美しい花を咲かせる。何となく、私に千年前の「遣唐使」の味を少し体験させてくれたような気がする。

時が経つのが早い、福井にいる間に自分の成長を感じた。留学という道に、たくさんの方は助けてくれた。大学院は、単に研究をして論文を完成させるというだけではなく、視野が広がり人間としての幅も広がると思う。「平凡」な私だが、以前より自信が付いたと思う。

歌のように、心が辛い時、涙が頬を濡らしても、私は一人じゃない、この道が大好きだから。遥か夢の場所へと足音を運んで、この道をいけばいい。



福井から世界に翔んだ人、ウィリアム・グリフィス

公益財団法人 日下部・グリフィス学術・文化交流基金理事長
福井大学国際地域学部特任教授
細谷 龍平



明治維新の前夜、日本から欧米に留学した草分けの一人は福井の日下部太郎でした。1867年に米国に渡航しラトガース大学に入学。外国人ながら学年トップの成績で卒業するはずだった矢先に結核で死亡。ラトガース大学でも伝説の日本の若き侍として語り継がれています。しかしそれ以上に福井と米国、否世界との関係に大きな足跡を残したのはウィリアム・グリフィスでした。

日下部にラテン語を教えたことも一つの縁でしたが、福井の教育の近代化を担える有為の教師を派遣して欲しいとの松平春嶽公の要請にラトガースの関係者が一致して白羽の矢を立てたのが若きグリフィスでした。当時の日本の奥地福井に赴くことは、米国で牧師となることを前提に将来を誓い合っていた婚約者エレンとの別れを意味していました。しかしこれは神から授かった使命と受け止め、日本行きを決断したのです。来たる2020年は彼が来日した150周年に当たります。

グリフィスは、福井での11ヶ月間、明新館で、その後東京に出て、3年半、東京大学の前身南校で明治日本の指導者となる人たちを育てます。そのように、日本の近代化に希望を託して貢献した一方で、グリフィスは、日本古来の文化風土や、日本人の礼節、優美、素朴さが近代化のために失われないことを強く願いました。その意味でグリフィスがこよなく愛し、生涯心に残った日本は、東京ではなく、福井の方だったのです。

日本滞在中の日記や書簡に加え、帰米後のグリフィスは85年の生涯にわたり精力的な文筆と講演活動で日本を紹介します。日本の通史と滞在記からなる若き日の代表作「ミカドズ・エンパイア」は版を重ねて当時の世界が日本を理解する最大の拠り所となりました。その中でグリフィスは、「私は近代知識の建築者として福井に来た、しかし、しばしば自分に問うた。何故この人たちをこのままにしておいてはいけないのか」、「福井の人々は、私の最も幸福な思い出のなかにいる」、また福井を離れる際には「さようなら福井、あなたは祝福の泉であった」と書いています。そして、55年後、昭和2年に福井を再訪した老グリフィスは、その変わり様に感嘆する一方で、「福井の人たちの優しさは変わっていない」と述懐しました。このグリフィスの体験は、150年を超えて現在の幸福度日本一の福井につながるのです！

ところが、グリフィスのことは、福井でも、名前を聞いたことはある人も今や少しだけ、それも日下部太郎の先生だったという以上に知る人は本当に減ってしまいました。この二人を顕彰して福井県の国際教育研究交流を支援するために

40年前に設立された（財）日下部・グリフィス基金も、最近財源は先細る一方です。グリフィスの来日150周年となる来年は、基金の再興を賭けて、グリフィスの名を蘇らせるためのキャンペーンを展開します。

まず、基金の窓口となっているウェブサイトで無料会員登録を受け付けています。右のQRコードから入り、お名前とメールアドを入力して登録してもらえば、150年前に遡るカウントダウンストーリーや、来年の諸行事についてメルマガとSNSで優先的にご案内していきます。



その中の目玉は、グリフィスの半生を描くテレビドラマ「福井を愛した男：グリフィス代記」（仮題）です。同じく福井を愛するパトリック・ハーランさん（パックン）にグリフィスを演じてもらいます。すでに収録を終わった場面から何枚か写真をご紹介します。この番組は来年4月にFBCで放映予定であるほか、5月23日に予定している福井大学での国際シンポジウム「グリフィスの福井：150年の時を超えて」（仮）でも上映します。

第一級の国際人グリフィスによる時代を超えた証言が、幸福度日本一のモデル地域福井の真価を、広く日本中に、また世界に認めてもらえる縁になると信じています。当基金としては、このことを福井の各大学、短期大学、高等専門学校などにやってくる外国人留学生の皆さんにも広く知ってもらえるよう、引き続き県留学生交流推進協議会との互恵的な協力関係を築いていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします！





公益財団法人福井県グローバル人材基金

公益財団法人福井県グローバル人材基金は、県内大学生等の語学力向上やアジア地域を中心とするグローバル経済の知識習得等に関する事業を行い、国際社会で活躍できる人材の育成に寄与することを目的として、大学生の長期海外留学に対する奨学金の貸与や、海外ビジネス講座等の受講・開催に対する支援、外国人留学生の日本語能力診断試験受験に対する支援などを行っています。

●海外留学の支援

福井県内の大学生、大学院生等または福井県出身で福井県外の大学生、大学院生等の海外修学に対して、渡航費や居住費として奨学金の貸与を行っています。原則は卒業後に一括または分割で返還する必要がありますが、卒業後に福井県内に本社を持つ企業等に就職して3年間就業を継続した場合は返還免除となります。

上記のほか、地域グローバル人材育成事業として、企業の寄付を原資とする給付型の奨学金事業も行っています。

●海外ビジネスに関する教育等への支援

福井県内の大学生、大学院生等や福井県内に本社を持つ企業等に勤務する社会人を対象として、福井県内の高等教育機関や公的団体が開催するビジネス外国語講座の受講支援、海外ビジネス講座（海外視察を伴う研修を含む。）を受講する際の受講料に対する支援を行っています。

また、海外ビジネス講座を開催する福井県内の高等教育機関や公的団体を対象として、講師謝金や会場使用料などの開催費用に対する支援を行っています。

●外国人留学生に対する支援

福井県内の大学、大学院等に在籍（交換留学を含む。）する外国人留学生を対象として、日本語能力診断試験の受講料に対する支援を行っています。（日本語能力試験N1：5千円、日本語能力試験N2～N5…3千円、BJT日本語能力テスト各級…3千円 ※原則年1回）

このほか、外国人留学生を対象とした就活セミナー・個別カウンセリング、県内企業見学なども実施しています。



支援の内容や申請については、下記までお問い合わせください。

〒910-1195

福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1

（福井県立大学国際・留学支援課内）

公益財団法人福井県グローバル人材基金

TEL 0776-61-6000

URL <https://fukui-global-fund.jp/>

MAIL asianfund@fpu.ac.jp

活動スナップ



イングリッシュウォーク (ふくい市民国際交流協会)



留学生国際交流体験 (福井工業大学)



Welcome Party (福井大学)



災害時外国人支援研修会 (福井県国際交流協会)



防災訓練 (ふくい市民国際交流協会)



新入外国人留学生歓迎会 (福井工業大学)

ベトナムの紹介
(ふくい市民国際交流協会)中国の紹介
(ふくい市民国際交流協会)

おちゃっこサロン「タンザニア」(福井県国際交流協会)



サマーキャンプ (福井大学)

外国人留学生と県内企業の合同企業説明会
(福井県国際交流協会)編入学外国人留学生鯉江市長表敬訪問
(福井工業高等専門学校)

学位記授与式 (福井大学)



外国人留学生との懇談会 (福井工業高等専門学校)



留学生との懇談会 (福井大学)



七夕（福井大学）



永平寺・小浜キャンパス間交流（福井県立大学）



English cafe（福井県国際交流協会）



国際フェスティバル（福井県国際交流協会）



スキー・スノーボード体験学習（福井工業大学）



スキー教室（福井大学）



協定校との交流会（福井県立大学）



ハローワールド（福井県国際交流協会）



Easter（福井大学）



大学祭（福井県立大学）



REINAN 国際交流のつどい（福井県国際交流協会）



大学祭（福井大学）



みさき祭（福井工業大学）

地域交流状況 留学生と地域との交流状況（平成30年10月～令和元年9月）

事業名	主催者等	開催期間
日本語常設講座	公益財団法人福井県国際交流協会	通年
しゃべり場「漢字で遊ぼう」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	通年
英語カフェ	福井県大学連携センターFスクエア	通年
English café	公益財団法人福井県国際交流協会	10月7日、11月18日、12月2日
国際理解促進講座 ハローワールド(長橋小学校、タンザニア紹介)	公益財団法人福井県国際交流協会	10月10日
Welcome Party	福井大学語学センター	10月12日、4月19日
留学生のための浴衣の着付け・茶道体験	福井大学国際センター	10月13日
留学生との東尋坊1日旅行	日中友好協会福井支部	10月14日
韓国の文化紹介(昭和幼稚園)	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	10月17日
福井工業大学 大学祭での模擬店出店	福井工業大学	10月20日～21日
福井国際フェスティバル2018	公益財団法人福井県国際交流協会	10月21日
きてみてフェア2018	福井大学	10月21日
福井県立大学 大学祭	福井県立大学	10月27日～28日
国際交流REINANのつどい(敦賀市・福井県国際交流嶺南センター)	公益財団法人福井県国際交流協会	11月11日
留学生との恐竜博物館見学	日中友好協会福井支部	11月18日
子供英語教室学習発表会	ECCジュニア王子保教室	11月18日
福井のこしひかり米づくり「収穫祭」	高須城山・農と人の会、福井大学国際センター	11月18日
第1回みさき祭(若狭町みさき漁村体験施設)	西浦地域づくり協議会	11月18日
ベトナムの文化紹介(昭和幼稚園)	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	11月21日
第24回おらが村でも国際交流	永平寺町吉野公民館	11月23日
おちゃっとサロン「タンザニア」	公益財団法人福井県国際交流協会	11月25日
チャリティイベント「第18回世界文化紹介講座(ウズベキスタン)」	インターナショナルさかい	12月1日
クリスマスパーティー	福井県立大学(World Café)	12月14日
留学生クリスマスパーティー	福井大学留学生会	12月18日
中国の文化紹介(昭和幼稚園)	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	12月19日
H30年度外国人留学生との懇談会(鯖江市国際交流協会との交流)	福井工業高等専門学校	12月20日
若狭高浜自然文化体験	福井大学留学生会、福井大学国際センター、若狭高浜観光協会	1月20日
留学生との交歓会	福井大学	1月24日
留学生送別会	福井大学留学生会	1月25日
通訳ボランティア研修会	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	1月26日、2月23日

事業名	主催者等	開催期間
福井で働く卒業留学生と現役留学生との交流会	福井大学国際センター	1月27日
餅つき	福井県立大学(World Café)	1月27日
ドイツの文化紹介(明新こども教室)	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	2月2日
春節の集い	福井市日中友好協会	2月3日
留学生 送別会	福井県立大学(World Café)	2月8日、8月3日
春節祝賀会	日中友好協会福井支部	2月10日
外国人留学生のための県内企業業界研究会	公益財団法人福井県国際交流協会	2月17日
観光マーケティング「福井の方言集の多言語化」	福井県立坂井高等学校	2月19日
グアテマラの文化紹介(昭和幼稚園)	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	2月20日
H30年度卒業予定外国人留学生 市長表敬訪問(鯖江市役所、越前市役所)	福井工業高等専門学校	3月18日
ワールドツアーワーク「世界の料理作り、世界の遊び体験」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	3月23日
新留学生 歓迎会	福井県立大学(World Café)	4月1日、9月30日
2019年度編入学外国人留学生 市長表敬訪問(鯖江市役所、越前市役所)	福井工業高等専門学校	4月4日
イングリッシュウォーク	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	4月6日
外国人留学生と県内企業の合同企業説明会	福井銀行、福井県、公益財団法人福井県国際交流協会	4月20日
福井工業大学 五月祭での模擬店出店(ハピテラス)	福井工業大学	5月18日
第28回若狭・三方五湖ツーダーマーチ	若狭・三方五湖ツーダーマーチ実行委員会	5月18日～19日
福井のこしひかり米づくり「田植え」「田の草取り」「稻刈り」	高須城山・農と人の会、福井大学国際センター	5月19日、7月7日、9月22日
協定校(フィンドレー大学)との交流会	福井県立大学(World Café)	5月30日
グローバルフェスタ(自国の文化紹介)	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	6月8日
第8回 国際グラウンドゴルフ大会&バーベキューパーティー	インターナショナルさかい	6月8日
リレーマラソン	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	6月16日
福井市総合防災訓練(東安居地区)	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	6月23日
永平寺・小浜 キャンパス間交流	福井県立大学(World Café/Ocean's X)	6月30日
七夕まつり	永平寺町(NPOかさじぞう)	7月4日
留学生のための浴衣の着付け・茶道体験	福井大学国際センター	7月6日
留学生国際交流体験(福井県陶芸館)	福井工業大学	7月20日
観光案内表示のモニタリング	北陸経済連合会	8月8日
高校生イベント	福井大学語学センター	8月24日
災害時外国人支援研修会	公益財団法人福井県国際交流協会	9月26日

留学生の北陸就職に向けて産学連携の意見交換会を実施

亞細亞大学アジア研究所 教授
アジア夢カレッジ 運営委員長 九門 大士



2018年度の北陸環日本海経済交流促進協議会（以下、北陸AJEC）とジェトロによる共同調査の中で、筆者は北陸の国立4大学の留学生に日本・北陸での就職意識に関するアンケート調査を実施した。その結果として、留学生は全体の6割以上の62%が日本／北陸で就職等を希望していた。一方、北陸経済連合会が2018年3月に実施した企業アンケートでは、北陸で外国人を採用している企業は19%に過ぎず、「今後の採用の計画あり」などを含めても4割程度となっており、留学生の意欲とのギャップがみられる。これら2つの調査から、留学生の北陸での就職に際して、職種やキャリアパスにおいて企業と留学生のニーズのミスマッチおよび採用時に企業が求める日本語能力の緩和などが大きな課題として浮かび上がった。

そこで、2019年度に同調査結果を元に、「外国人留学生の北陸企業への就職促進に向けた意見交換・交流会」を北陸3県にて北陸AJECと協力大学の共催で実施した。その目的は、留学生が北陸企業で働く動機やニーズ・今後のキャリアパスを再確認することで北陸企業への就職に関する意欲を高めるとともに、北陸企業のニーズや留学生採用等に関する課題を検討し、相互のミスマッチを軽減する機会とすることにある。

今回は北陸AJECと福井大学の共催で10月に福井大学で実施した内容を元に述べたい。参加者は中国、ベトナム、カンボジア、ミャンマーなど4か国11名の留学生である。多くの地元企業や大学などの方々にもオブザーバーとして参加頂き、関心の高さが窺えた。

会の前半は今回の調査結果を講義した後、キャリア形成に向けた意見交換を行った。北陸での就職について意見を聞くと、多くの留学生が生活環境が良い点などを理由として北陸での就職を前向きに考えており、非常に喜ばしいことである。一方、北陸で何をしたいかという点はまだ明確になっていない学生も多く、この点を明らかにするためのキャリア支援なども必要であろう。

自分の価値観と就職について考えるワークにおいては、自身の大切な価値観に「健康」と回答した留学生が全体の半数程度いた。まだ20代の学生が健康を意識しているということには驚きだが、残業との関連でワークライフバランスを意識している学生が世代的にも多いと感じる。また、「経験」や「成長」が大事という回答も多く、職業経験を通じてスキルを向上させる意識が高いことが改めてわかった。

後半は、日華化学株式会社、YKK株式会社の北陸企業に自社の国際展開および外国人採用状況についてお話を頂いた。日華化学は、外国人採用の際にも日本人と同じプロセスで採用している。現在600人の社員中7名が外国籍社員（中国、台湾、インドネシアなど）で、本社や現地法人などでキャリアを積んでいる。具体的には、営業職として入社した入社23年目の中国籍社員は既に本社取締役にも就任している。本社で研究職として入社したベトナム籍の社員は、本社勤務4年目にベトナム子会社に転籍し、将来のマネジャー

候補となっている。

YKKでは外国籍社員は、生産技術や設備設計など技術系の人材が多い。文系は営業系の採用は少なく、管理系（人事・経理など）が多い。また海外大学卒業生の採用も実施しており、技能実習生は採用していない。

最後に、留学生の北陸での就職に向けて、登壇頂いた企業の方と留学生のグループで「採用時の日本語要件緩和」と「留学生向けインターンシップのPR方法」の2つのテーマについて議論して発表頂いた。日本語については、留学生から、N1を取得しても会話ができない学生が多く、敬語や仕事における専門用語が難しいため、ビジネス用語の講座開設への希望があった。これに対して企業の方からは、日本語が流暢でなくても自分の意思を伝えられることが大事とのコメントがあった。インターンシップについては、留学生向けのものが必要という意見が出された。参加してみたいインターンは、専門的用語・表現を学べるものが良い、1日の業務の流れを紹介してほしい、有給インターンも生活費の補助になるため実施してほしいなどであった。

今回の意見交換・交流会を終えて、企業への提言として、3つ挙げられる。第1に、採用時の日本語能力要件の緩和である。日本語での会話能力もそうだが、日本語での書類作成・筆記試験の多言語化・簡素化も重要だ。例えば、私が教えていた日本語が堪能な中国人の修士大学院生の実例を挙げると、10社しか受けないのに何種類ものウェブテストに対して準備する必要があり、エントリーシートを限られた文字数・時間で作成するのが非常に大変だったという。今回参加していた留学生も皆日本語が流暢であったが、それでも日本語への課題を抱えており、日本（北陸）での就職に関心があるが日本語がそれほど流暢でない英語トラックの留学生など潜在的な人材がいることを考えると、日本語要件の緩和を具体的に検討すべきである。また、どの程度の日本語レベルが必要かわからないという意見も多いため、基準を明示することも必要である。

第2に、入社前後の日本語学習のサポートである。採用時の日本語要件を緩和するのと併せて、大学や企業が入社前（内定後）の日本語研修・入社後の日本語研修を実施して外国人社員の学びをサポートする必要がある。YKKは既に入社後の日本語研修を実施しているという。一方、留学生にとっても入社前後の日本語学習は自身への「投資」となる。海外の企業文化や考え方を深く知るには言語を学ぶ必要があり、言語を習得すれば、今後母国に帰国した際にも、日系企業で働いたり取引をするチャンスが広がる。

第3に、中長期のインターン受け入れである。お互いに人柄や会社の雰囲気を知ることができ、企業は留学生の語学運用能力や専門性・スキルなどを実際に把握することができミスマッチを防止できるというメリットがある。



福井県留学生交流推進協議会の活動

平成 30 年度福井県留学生交流推進協議会定例総会が、会長の眞弓光文福井大学長の進行のもと、推進協議会会員の出席を得て、平成 30 年 12 月 5 日（水）、福井大学文京キャンパスアカデミーホール集会室で開催されました。

総会は、会長の挨拶の後、会長を議長に選出し議事に入りました。主な内容は次のとおりです。

平成 29 年度活動報告

眞弓会長から次のような活動報告および決算報告が行われました。

1. 運営委員会・定例総会の開催
2. 「留学生救済援助金制度」による留学生への救済支援の実施
3. 福井県高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況調査の実施
4. 留学生体験発表の実施
5. 福井県留学生だより 2017 の発行

平成 31 年度／令和元年度活動計画

眞弓会長から次のような活動計画が提案され、いずれも異議なく承認されました。

1. 運営委員会・定例総会の開催
2. 「留学生救済援助金制度」による留学生への救済支援の実施
3. 福井県高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況調査の実施
4. 留学生体験発表の実施
5. 福井県留学生だよりの発行
6. 各種団体行事等の後援

議事終了後、福井大学工学部3年アイヌル・ハフィザ・ピンティ・アズランさん（マレーシア）と福井工業大学工学部3年トゥートゥーアウンさん（ミャンマー）による体験発表が行われました。



福井県留学生交流推進協議会 会員・運営委員会名簿

福井県留学生交流推進協議会会員名簿

令和元年 11月現在

順不同：敬称略

機関等名	長又は代表者	氏名
法務省名古屋入国管理局福井出張所	所 長	山 口 和 弘
福井県	知 事	杉 本 達 治
福井県教育委員会	教 育 長	豊 北 欽 一
福井市	市 長	東 村 新 一
福井市教育委員会	教 育 長	吉 川 雄 二
福井県市長会	会 長	東 村 新 一
福井県町村会	会 長	杉 本 博 文
○ 福井商工会議所	会 頭	伊 東 忠 昭
福井経済同友会	代 表 幹 事	江 守 康 昌
福井県経営者協会	会 長	前 田 征 利
(公社) 日本青年会議所北陸信越地区 福井ブロック協議会	会 長	笹 岡 太 久 磨
福井県農業協同組合中央会	会 長	田 波 俊 明
福井県経済団体連合会	会 長	伊 東 忠 昭
公益財団法人 福井県国際交流協会	理 事 長	山 田 賢 一
NPO 法人福井県日本中国友好協会	会 長	酒 井 哲 夫
福井日伊英米交流協会	会 長	伊 東 忠 昭
福井県日韓親善協会	会 長	伊 東 忠 昭
(一社) 福井県医師会	会 長	池 端 幸 彦
福井ロータリークラブ	会 長	林 正 岳
ライオンズクラブ国際協会 334-D 地区	地 区 ガ バ ナ ー	山 岸 博 之
福井県連合婦人会	会 長	田 村 洋 子
福井県連合青年団	団 長	岡 井 里 紗
国際ソロプロチミスト福井	会 長	黒 川 眞 由 美
一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	会 長	青 池 浩 生
○ 福井県立大学	学 長	進 士 五 十 八
福井工業大学	学 長	掛 下 知 行
仁愛大学	学 長	田 代 俊 孝
仁愛女子短期大学	学 長	禿 正 宣
敦賀市立看護大学	学 長	交 野 好 子
福井医療大学	学 長	山 口 明 夫
福井工業高等専門学校	校 長	田 村 隆 弘
学校法人大原学園福井校	校 長	赤 星 哲 志
○ 福井大学	学 長	上 田 孝 典

○印：会長 ○印：副会長

福井県留学生交流推進協議会 運営委員会委員名簿

順不同：敬称略

機関等名	官職	氏名
福井県	産業労働部 副部長（国際経済）	谷 口 竜 哉
福井市	商工労働部観光文化局 おもてなし観光推進課 国際室長	高比良 博 則
福井商工会議所	地域事業課長	小 谷 孝 一
公益財団法人福井県国際交流協会	専務理事	松 田 健 志
一般社団法人福井県専修学校 各種学校連合会	事務局長	穴 吹 憲 男
福井県立大学	交流・研究支援部長	坂 井 太
福井工業大学	国際交流課 課長代理	奥 村 光 理
仁愛大学	学生支援センター 次長	出 村 友 寛
仁愛女子短期大学	総合学務センター 学び支援課長	山 田 浩 隆
敦賀市立看護大学	教務学生課長	村 上 みち子
福井医療大学	事務課事務室長	岩 永 和 也
福井工業高等専門学校	学生課長	出 口 雅 弘
学校法人大原学園福井校	副校長	小 倉 豪 円
○ 福井大学	理事（教育、評価担当）／副学長	安 田 年 博
	副学長（国際担当）	明 石 行 生
	国際センター副センター長	虎 尾 憲 史
	学務部長	岡 田 正 史

○印：委員長

任期：平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

福井県高等教育機関における外国人留学生の受け入れ状況等

令和元年 10月 1日現在

1. 経費別留学生数

機関名 区分	福井大学	福井 県立大学	福井 工業大学	仁愛大学	仁愛女子 短期大学	敦賀市立 看護大学	福井医療 短期大学	福井 工業高等 専門学校	大原テクノ デザインアート 専門学校	福井ベット& 旅行ホテル 専門学校	大原簿記 法律専門 学校福井校	大原スポーツ 医療保育福祉 専門学校	合計
国費	18							2					20
マレーシア 政府派遣	21							6					27
その他 政府派遣	18							1					19
国際協力機構 (JICA)													0
私費	184	32	119							4	1	6	346
内 (交換留学生)	(108)	(14)											(122)
合計	241	32	119	0	0	0	0	9	0	4	1	6	412

2. 国別留学生数

機関名 国名	福井大学	福井 県立大学	福井 工業大学	仁愛大学	仁愛女子 短期大学	敦賀市立 看護大学	福井医療 短期大学	福井 工業高等 専門学校	大原テクノ デザインアート 専門学校	福井ベット& 旅行ホテル 専門学校	大原簿記 法律専門 学校福井校	大原スポーツ 医療保育福祉 専門学校	合計
ネバール				1 (0)						2 (0)			3 (0)
バングラデシュ	4 (0)		1 (0)					1 (0)					6 (0)
ミャンマー	4 (2)		4 (3)										8 (5)
タイ	1 (1)		10 (5)										11 (6)
マレーシア	39 (19)		13 (1)					6 (2)					58 (22)
インドネシア	10 (5)	1 (0)	3 (1)										14 (6)
フィリピン	2 (1)												2 (1)
中国 (香港)	2 (1)												2 (1)
韓国	13 (6)	2 (2)											15 (8)
モンゴル	2 (1)		4 (1)				2 (0)						8 (2)
ベトナム	7 (6)	12 (7)	41 (12)							1 (1)	2 (2)		63 (28)
中国	106 (51)	13 (10)	40 (8)						2 (0)		4 (2)	165 (71)	
カンボジア	5 (1)												5 (1)
ブルネイ	1 (1)												1 (1)
中国 (マカオ)	1 (1)												1 (1)
台湾	21 (14)	4 (3)	1 (0)										26 (17)
エジプト	1 (1)												1 (1)
アメリカ合衆国	5 (3)												5 (3)
メキシコ	2 (0)												2 (0)
グアテマラ	1 (1)												1 (1)
ブラジル	1 (0)												1 (0)
英国	1 (0)												1 (0)
ドイツ	2 (1)												2 (1)
フランス	2 (0)												2 (0)
ポルトガル	1 (1)												1 (1)
イタリア	1 (0)												1 (0)
ルーマニア	1 (0)												1 (0)
ロシア	1 (1)												1 (1)
リトアニア	2 (1)												2 (1)
ウズベキスタン	1 (0)		1 (0)										2 (1)
トルクメニスタン	1 (0)												1 (0)
合計	241 (119)	32 (22)	119 (31)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (2)	0 (0)	4 (0)	1 (1)	6 (4)	412 (179)

() 内の数は、女子で内数

3. 住居形態別留学生数

機関名 区分	福井大学	福井 県立大学	福井 工業大学	仁愛大学	仁愛女子 短期大学	敦賀市立 看護大学	福井医療 短期大学	福井 工業高等 専門学校	大原テクノ デザインアート 専門学校	福井ベット& 旅行ホテル 専門学校	大原簿記 法律専門 学校福井校	大原スポーツ 医療保育福祉 専門学校	合計	
大学留学生会館等	51 (30)												51 (30)	
学生寮	50 (24)			1 (0)					9 (2)				60 (26)	
大学等借上宿舎		14 (12)											14 (12)	
公営住宅	2 (0)												2 (0)	
民間企業の留学生寮													0 (0)	
アパート・マンション	134 (64)	18 (10)	111 (29)							4 (0)			267 (103)	
借家	1 (0)			5 (1)									6 (1)	
下宿													0 (0)	
その他	3 (1)			2 (1)							1 (1)	6 (4)	12 (7)	
合計	241 (119)	32 (22)	119 (31)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (2)	0 (0)	4 (0)	1 (1)	6 (4)	412 (179)

() 内の数は、女子で内数

4. 国別・経費別・在籍別留学生数

区分 国名	国費留学生				外国政府派遣留学生				私費留学生				JICA 修士	合計			
	学部	修士	博士	研究生	科別等履修生	学部	修士	博士	研究生	学部	修士	博士	特別研究学生 研究生	特別講習学生 科目等履修生	専門課程		
ネパール										1					2	3	
バングラデシュ	1		3	1						1						6	
ミャンマー		2		1						3	2					8	
タイ			1							7	2	1				11	
マレーシア					41					14	2		1			58	
インドネシア		1							3	2	1	4				14	
フィリピン			1	1												2	
中国（香港）													2			2	
韓国										3			12			15	
モンゴル	1				1		1			3	1	1				8	
ベトナム										52	1		7	3		63	
中国										49	33	13	18	46	6	165	
カンボジア	4									1						5	
ブルネイ													1			1	
中国（マカオ）													1			1	
台湾										1	1	1	23			26	
エジプト											1					1	
アメリカ合衆国													5			5	
メキシコ													2			2	
グアテマラ			1													1	
ブラジル				1												1	
英國													1			1	
ドイツ													2			2	
フランス											1	1				2	
ポルトガル													1			1	
イタリア													1			1	
ルーマニア													1			1	
ロシア				1									2			2	
リトアニア																2	
ウズベキスタン										1	1					2	
トルクメニスタン										1						1	
合計	6	3	5	4	2	42	0	4	0	140	45	19	19	112	11	0	412
			20			46							346				

5. 外国人留学生の奨学金受給状況（令和元年度）

国名 奨学金等名称	ネパール	ミャンマー	タイ	マレーシア	インド ネシア	ベトナム	中国	カンボジア	台湾	エジプト	メキシコ	フランス	トルクメニスタン	合計
(独) 日本学生支援機構 文部科学省私費外国人留学生学習奨励費	1	2	1	2	1	3	13		1	1				25
(公財) 江戸アジア留学生育英会 外国人私費留学生奨学金					1	3	8						1	13
(公財) ロータリー米山記念奨学会 ロータリー米山記念奨学金					2		2	3						7
(公財) SGH 財団					1		1							2
(公財) 三谷育英会 外国人留学生奨学金							1	1						2
(公財) 上原記念生命科学財団 来日研究生助成金									1					1
(公財) 日揮・実吉奨学会												1		1
(公財) 似鳥国際奨学財団							1							1
(公財) ヒロセ国際奨学財団							1							1
(公財) 平和中島財団			1											1
(公財) 安田奨学財団							1							1
(独) 日本学生支援機構 海外留学支援制度（協定受入）奨学金 ※短期留学生対象									2		1			3
日本台湾交流協会奨学金（短期留学生） ※短期留学生対象									1					1
合計	1	2	2	5	2	9	28	1	5	1	1	1		59

編集・発行
福井県留学生交流推進協議会事務局

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号
TEL 0776-27-8439 FAX 0776-27-9715
(福井大学学務部国際課内)
発行:令和元年12月